2024年度環境経営レポート

取組期間:2024 年1月～2024 年 12 月

®環境省
エコアクション21
認証番号 0006626

発行日:2025 年 2 月 3 日

株式会社 北村建設

株式会社　北村建設

環　境　経　営　方　針

＜基本理念＞

「信頼と笑顔で、自然との共生を目指します」という当社の経営理念に基づき、日に日に深刻化していく地球温暖化を始めとする環境問題への対応に全力をつくし、自然との共生を目指した事業活動を行います。

＜行動指針＞

1. 環境保全に関わる法令・規則・条例等を遵守します。
2. 事業活動の中で、省資源・省エネルギーに取り組みます。
   - ○二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。
   - ○建設現場での産業廃棄物の削減・リサイクルに取り組みます。
   - ○一般廃棄物の削減に取り組みます。
   - ○水使用量削減に取り組みます。
   - ○循環資源（リサイクル品）の有効活用の推進に取り組みます。
3. 環境経営レポートを作成し、環境取組の状況を公表します。
4. 目標を設定し、定期的に見直し環境経営システムの継続的改善を推進します。
5. この方針を全従業員に周知するとともに、社外にも公開します。

制定日：2010 年 6 月 5 日

改定日：2020 年 2 月 28 日

株式会社　北村建設

代 表 取 締 役

北　村　稔

1. 事業所の概要

(1) 事業所名及び代表者名
株式会社　北村建設
代表取締役　北村　稔

(2) 所在地　　兵庫県朝来市多々良木 667

(3) 環境保全関係の責任者及び連絡先
環境管理責任者　代表取締役　北村　稔　　TEL:079-678-0729
担　当　者　　北村　美樹　FAX:079-678-1082

(4) 事業内容
土木建築工事

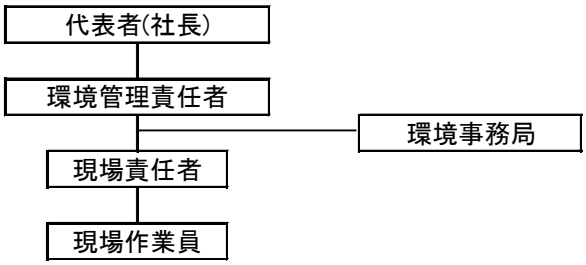
(5) 事業の規模(2024 年度)
売上高　　3,900 万円
従業員　　3 名
延床面積　本社:100 ㎡
敷地面積　資材倉庫:200 ㎡(本社敷地内)

(6)事業年度　　1 月～12 月

2. 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名:株式会社　北村建設
対象事業所:本社
活　　動:土木建築工事

3. 実施体制



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者、情報を準備 ・環境管理責任者を任命 ・経営における課題とチャンスの明確化 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境経営活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認

	役割・責任・権限
環境事務局	・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境への取り組みの実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
現場責任者	・現場における環境経営システムの実施 ・現場における環境経営方針の周知 ・現場の従業員に対する教育訓練の実施 ・現場に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・現場の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 テスト、訓練を実施、記録の作成 ・現場の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境への取り組みへ参加

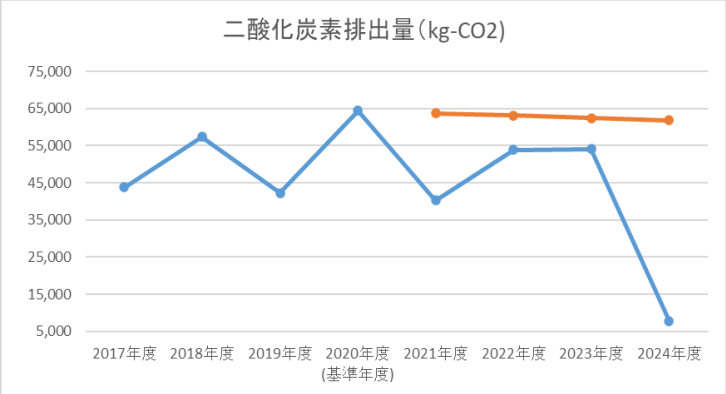
4. 主な環境負荷の実績

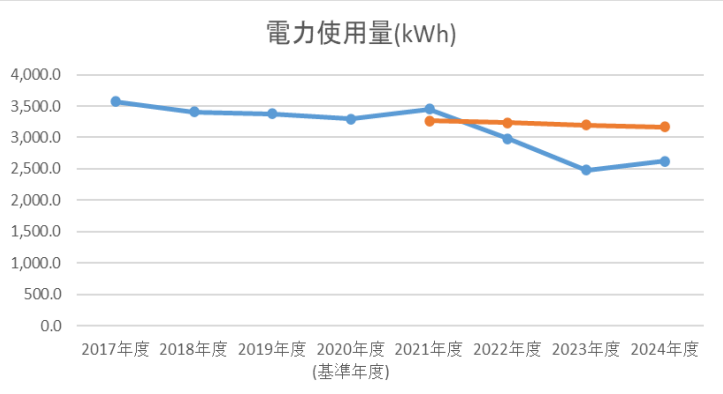
項　目	単位	2019 年度	2020 年度 (基準年度)	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
二酸化炭素排出量	kg-CO_2	42,222.8	64,371.2	40,258.3	53,921.2	54,135.1	7,835.5
・電力	kWh	3,373.7	3,296.6	3,447.5	2,978.4	2,481.6	2,623.7
・ガソリン	L	4,008.9	4,010.2	2,891.4	3,907.6	4,636.1	1,691.9
・軽油	L	12,142.6	20,590.2	12,373.9	16,736.7	16,232.6	1,178.0
一般廃棄物排出量	kg	31.0	52.0	48.0	60.0	27.0	30.47
産業廃棄物排出量	トン	1,006.2	863.4	537.3	168.26	296.36	65.83
・混合廃棄物量	トン	1.9	1.1	2.1	6.44	3.25	1.04
・再資源化量	トン	1004.3	862.3	535.2	161.82	293.11	64.79
・リサイクル率	%	99.8	99.9	99.6	96.2	98.9	98.4
上水使用量	m^3	35.1	36.8	35.6	36.3	37.7	31.9
循環資源の利用	トン	838.6	988.1	1,371.6	123.5	651.13	34.74

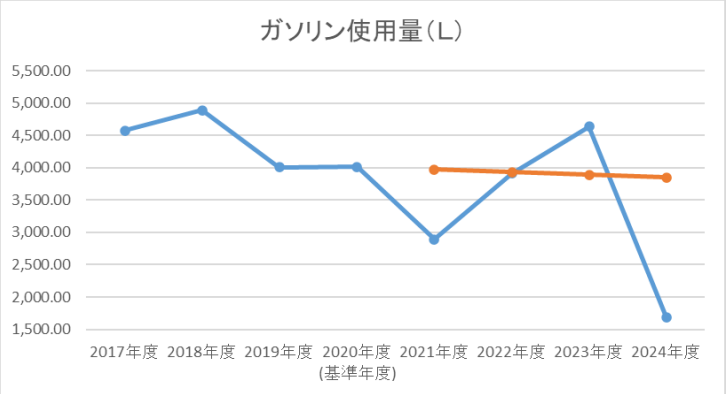
注１）一般廃棄物排出量は可燃ごみと資源ごみの合計です
注２）EA21 で対象とする化学物質は使用していません
注３）循環資源の種類：再生砕石

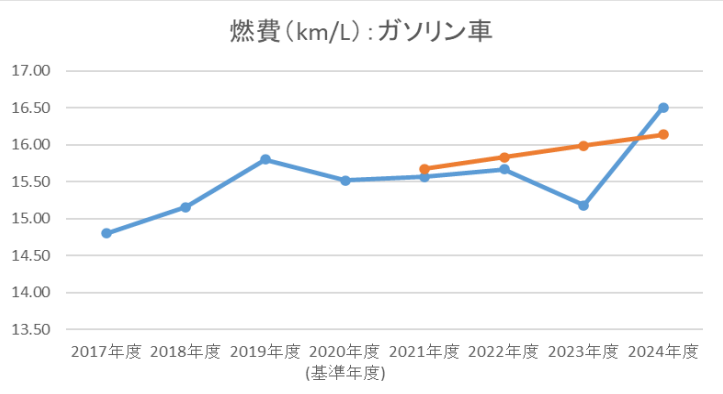
＊主な環境負荷の実績と目標値の推移（2020 年度：基準年）

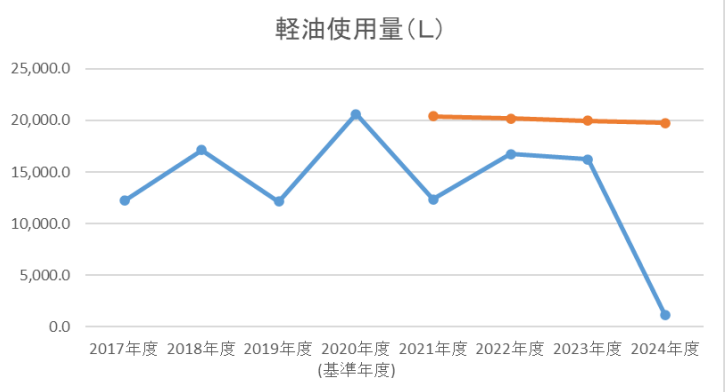
実績値　目標

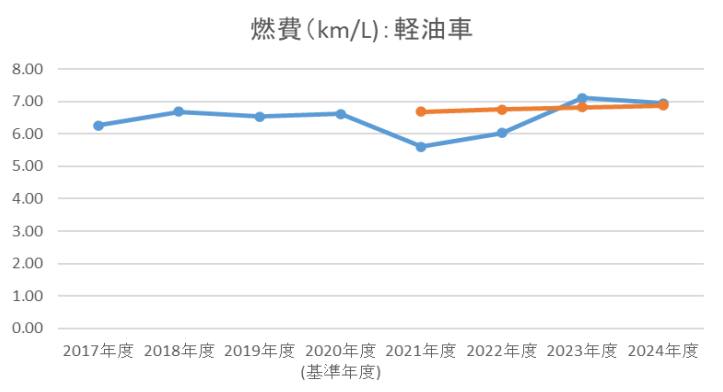


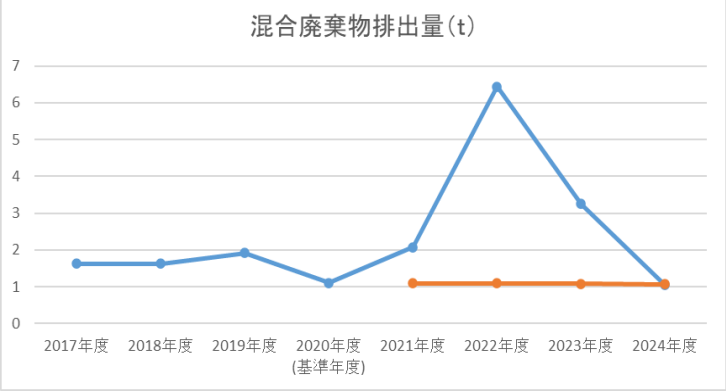


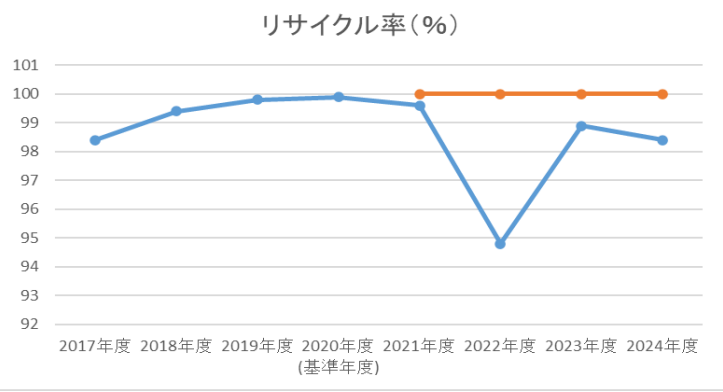


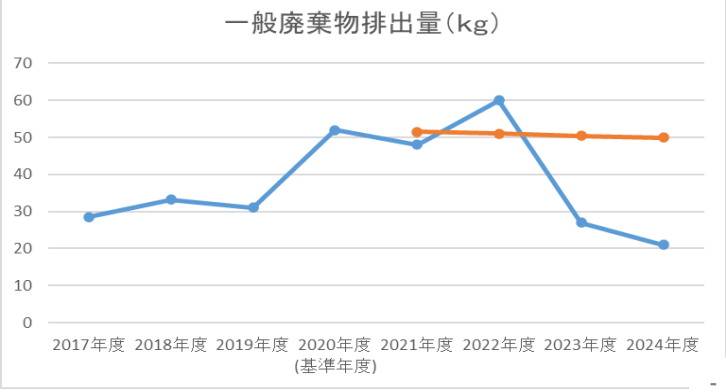


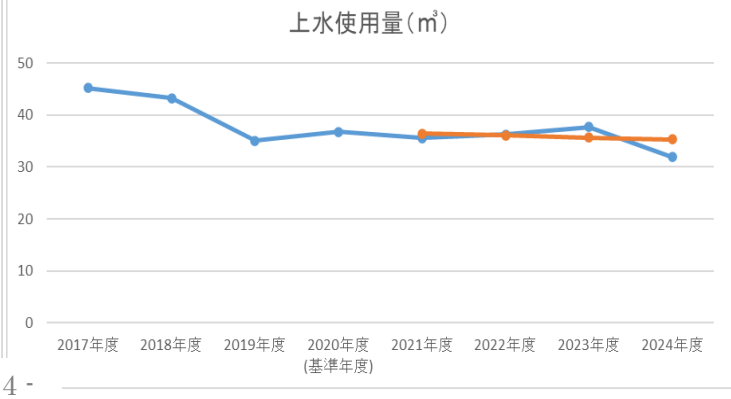












5．環境経営目標とその実績

項目 ＼ 年度		2020年度	2024年度			2025年度	2026年度
		基準年度	目標	実績	評価 達成度	目標	目標
電力の二酸化炭素 排出量削減	kWh	3,296.6	3,164.7	2,623.7	○	3,131.8	3,098.8
	kg-CO_2	1,025.2	984.2	816.0	121%	974.0	963.7
	基準年度比	－	96%	80%	－	95%	94%
ガソリンの二酸化 炭素排出量削減	L	4,010.2	3,849.8	1,691.9	○	3,809.7	3,769.6
	kg-CO_2	9,310.3	8,937.9	3,928.0	228%	8,844.8	8,751.7
	基準年度比	－	96%	42%	－	95%	94%
	平均燃費	15.5	16.14	16.51	○ 102%	16.30	16.45
	基準年度比	－	104%	107%	－	105%	106%
軽油の二酸化炭素 排出量削減	L	20,590.2	19,766.6	1,178.0	○	19,560.7	19,354.8
	kg-CO_2	54,035.7	51,874.3	3,091.5	1678%	51,333.9	50,793.5
	基準年度比	－	96%	6%	－	95%	94%
	平均燃費	6.6	6.88	6.95	○ 101%	6.95	7.02
	基準年度比	－	104%	105%	－	105%	106%
上記二酸化炭素 排出量合計	kg-CO_2	64,371.2	61,796.4	7,835.5	○ 789%	61,152.7	60,509.0
一般廃棄物の削減	kg	52.0	49.9	21.0	○ 238%	49.4	48.9
	基準年度比	－	96%	40%	－	95%	94%
産業廃棄物の削減 ・混合廃棄物量の削減	t	1.11	1.07	1.04	○ 102%	1.05	1.04
・リサイクル率の向上	%	99	100	98.4	△ 98.4%	100	100
*再資源化量(参考)	t	862.31	－	64.79	－	－	－
上水使用量の 削減	m^3	36.8	35.3	31.9	○ 111%	35.0	34.6
	基準年度比	－	96%	87%	－	95%	94%
循環資源(リサイクル 品)の有効活用の推進	t	988	積極的使用	32.2	○	循環資源の 積極的使用	
	基準年度比	－	－	－	－		

凡例）　○：100％以上　△：97％～100％未満　×97％未満

注１：購入電力の二酸化炭素排出係数(調整後)は関西電力(株)の2021年度の0.311kg-CO2/kWhを使用。

注２：リサイクル率：再資源化量／(混合廃棄物量＋再資源化量)×100

注３：混合廃棄物：再資源化できなかった廃棄物

注４：二酸化炭素排出量に、灯油は微少のため含まず(2024年度使用量：210Ｌ)。
灯油も含んだ二酸化炭素排出量は8,358.3kg-CO2となる。

注５：「循環資源の有効活用の推進」については、数値目標を設定しない

注６：一般廃棄物排出量は、焼却処分のみで資源ごみは含んでいない。

６．環境活動の取り組み計画と評価、次年度の環境経営計画

◎よくできた　○できた　△あまりできなかった　×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価結果と今後の取り組み計画
二酸化炭素排出量の削減	◎	（目標達成）下記の項目による。
・電力による二酸化炭素排出量の削減		（目標達成）
①不要照明・機器の電源オフ	◎	きちんと実践できているので、今後も継続する。
②室内温度の適性化	◎	過度な冷暖房の使用は控えられている。
・自動車燃料(ガソリン)による二酸化炭素排出量の削減 ・平均燃費の向上		（目標達成） （目標達成）
①資材の積み下ろし時の アイドリングストップの徹底	○	おおむね実践できているが、個々の行動を再確認し今後も継続して行う。
②走行距離・給油量の管理	◎	きちんと実践できているので今後も継続する。
③燃費の向上	△	目標が達成できていない月も見られるため、エコドライブの徹底をはかり、燃費の向上に努める。
・トラック・重機燃料(軽油)による二酸化炭素排出量の削減 ・平均燃費の向上		（目標達成） （目標達成）
①資材の積み下ろし時の アイドリングストップの徹底	○	おおむね実践できているが、個々の行動を再確認し今後も継続して行う。
②走行距離・給油量の管理	◎	きちんと実践できているので、今後も継続する。 重機の使用が大幅に減ったため、使用量も大幅減となった。
③燃費の向上	△	目標が達成できていない月も見られるため、エコドライブの徹底をはかり、燃費の向上に努める。
④用途ごとの給油量の把握	◎	実践できているので、今後も継続する。
一般廃棄物の削減		（目標達成）
①裏紙の利用	○	おおむねできている。メモ用紙、社内文書などに積極的に利用する。
②ミスコピーの防止	△	印刷前に見返す癖をつけ、ミスコピーのないようにする。
③分別回収	○	重要文書以外は、リサイクル・再資源化に努める。
産業廃棄物の削減		（目標達成）
・混合廃棄物量の削減	○	分別を徹底し、再利用・再資源化に取り組み削減に努める。
リサイクル率の向上		（目標未達成）
・リサイクル率の向上	△	廃棄する前の確認を徹底し、分別をしっかりと行い再利用・再資源化に努める。
上水使用量の削減		（目標達成）
①節水利用の継続	◎	節水についての意識をしっかりと持ち、必要以上に水を垂れ流したりしないよう徹底し、継続して活動する。
循環資源（リサイクル品）の有効活用の推進		（目標達成）
①対象品目の調査	◎	対象品目の発生量をフォローしていく。

７．環境関連法規制等の遵守状況

⑴ 法的義務を受ける主な環境関連法規制は、次のとおりです。

適用される法規制	遵守すべき要求事項	遵守状況
廃棄物処理法	廃棄物収集・運搬事業者及び廃棄物処理業者との書面による委託契約 マニフェスト伝票の５年間保管 マニフェスト伝票の管理と報告	遵守
建設リサイクル法	建築物等の分別解体等及び再資源化等	遵守
騒音規制法	特定建設作業開始の７日前までに市長への届出 規制基準の遵守	遵守
振動規制法	特定建設作業開始の７日前までに市長への届出 規制基準の遵守	遵守
消防法	消火器の設置 事故発生時の消防署への通報義務	遵守
自動車リサイクル法	廃棄時、引き取り業者への引渡し義務	遵守
家電リサイクル法	廃棄時、リサイクルおよびリユースを確実に行う業者への処理委託	遵守

環境法規制等の遵守状況に関する定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。

⑵ 過去３年間、関係当局より違反等の指摘はありませんでした。また、訴訟等も１件もありませんでした。

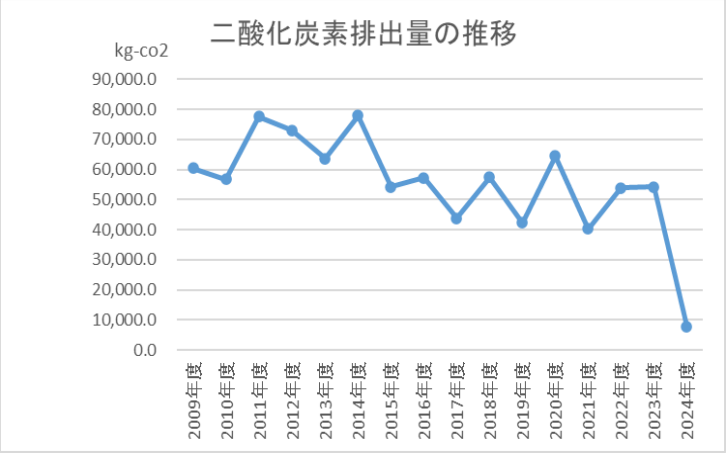
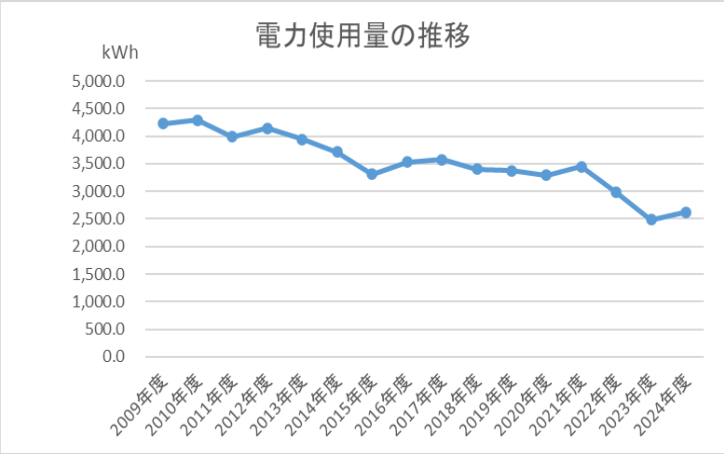
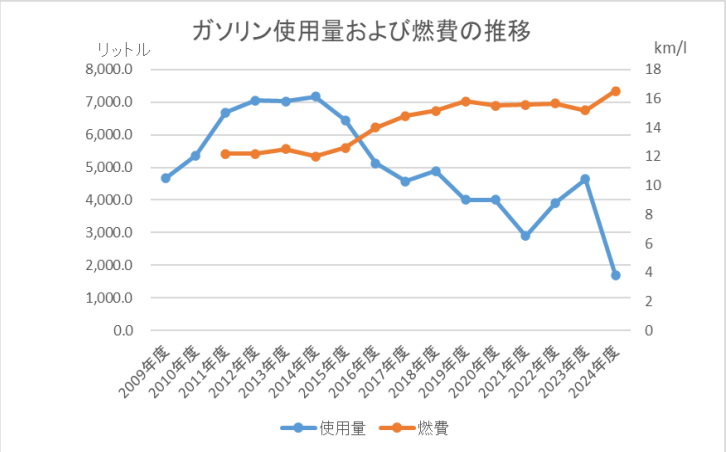
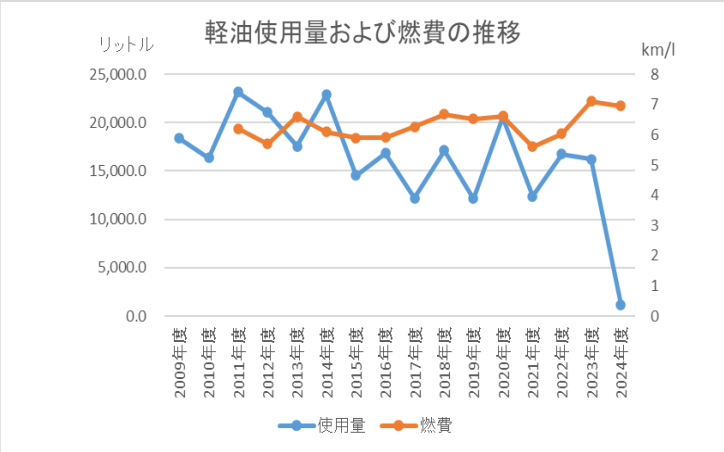
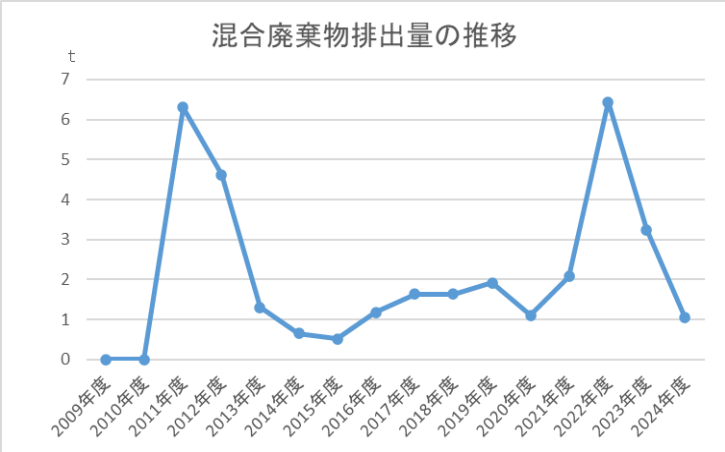
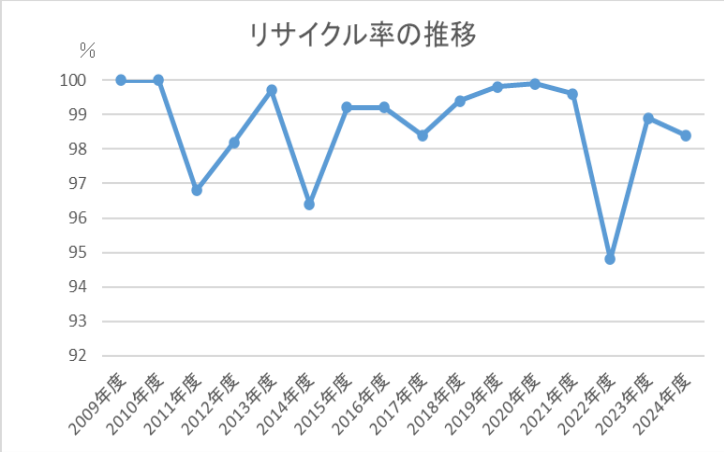
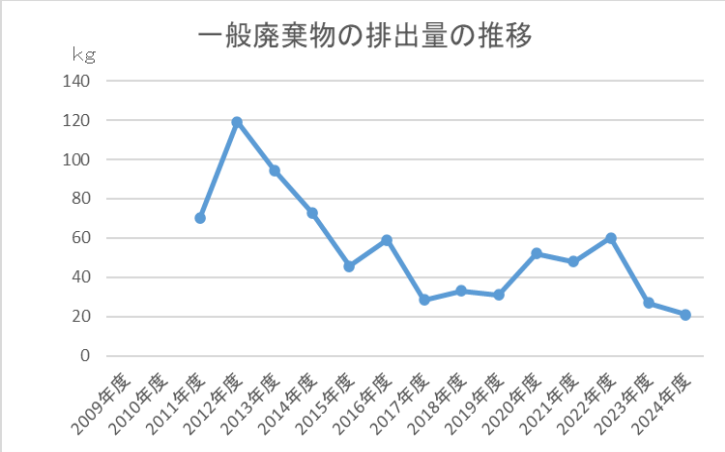
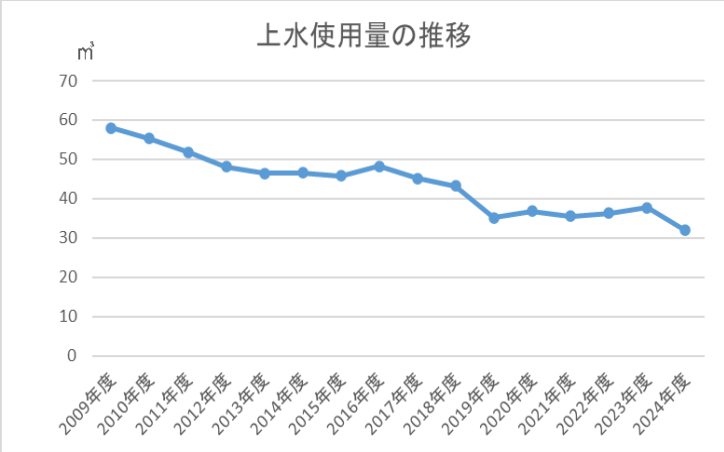
８．代表者による全体の評価と見直し・指示

今年度は、受注量が大幅に減少したことに伴い、各使用量・排出量も大幅に減少する結果となりました。受注量の増減に影響される項目が多くありますが、それぞれができることをコツコツと続けていこうと考えています。今後も、事業活動と環境活動をうまく両立し自然との共生を目指してまいります。

なお、環境経営方針・及び実施体制については、変更の必要はないと判断します。環境経営目標・環境経営計画については、ガソリン・軽油・水の 3 項目について新たな目標を設定し、取り組んでまいります。

2025 年 1 月 24 日

代表取締役　北村　稔

＜参考資料＞

エコアクション導入前年（2009 年）からの環境負荷の実績値の推移